

一般質問



久枝
議員

○伊万里湾赤潮対策について

質 発生を感知した時、調査しながら早めに初期対策が必要であるが具体的にはどのような対策か。

水産課長 監視体制を強化するとともに、発生初期段階における防除剤の散布、赤潮拡大時の適切な餌どめの徹底などに取り組んでいます。

質 抜本的対策とは。

水産課長 発生パターンはわかっていますでしたが、発生場所の特定までには至っていません。さらに、なぜ湾奥で毎年必ず最初に増えるのか、その原因もまだつかめていない状況です。

質 海底汚泥の除去、海底底質改善を国、県に要望すべきではないのか。

水産課長 県において低質改善による赤潮の発生及び拡大の抑制の可能性について調査を実施しています。効果の確認後、国や県へ働きかけていく必要があると考えます。

質 新松浦漁業協同組合での意見交換会に対し、市長が出席できないのであれば、副市長がでるべきではないかと思うが。

市長 私も副市長も出席できなかったため、最もこの状況を把握している水産課長を派遣したところです。

質 意見交換会の中で被害者の方からの汚泥対策を行動に起こしてほしいとの要望や3年連続の被害に対し、市長としての行動は。

市長 地元養殖業者、漁協、県と協議を行う予定です。皆様の声をしっかりと聞きながら、これまでの発生状況や取り組み結果などを踏まえて、今後何が必要なのかを十分整理し、国や県へお願いすべき点等については要望活動を行っていきたいと考えます。

○西九州道伊万里地区未着手区間の久原側からの早期事業化について

質 府招から伊万里西までの用地交渉の進捗状況は

都市計画課長 現在、調査設計、用地買収、そして伊万里東府招インターチェンジから仮称の伊万里中インターチェンジが工事中です。

質 西九州道建設促進協議会からも久原楠久ICからも工事に入ってくれるように陳情するので、市長にも国や県、担当機関に西側からも工事が進めるように進言していただきたと思うが。

市長 限られた道路予算を分散して使うよりも、まずは伊万里区間で現在工事が進められている区間について早急に供用開始ができるような取組を行っていただくことが松浦市にとつて最も大きなメリットを享受できると思っています。

一般質問



和田
議員

○市有財産の有効的な活用について

質 行政財産として用途廃止が想定される公共施設について、市ホームページ等で公開し、利活用を広く公募できないかお尋ねします。イメージとしては、公共施設版の空き家バンクです。

市長 市ホームページ等でそのような公共施設を紹介し、利活用を図るということは非常に重要なことと考えており、総務省からも指導がなされています。総務省が進める全ての市有財産の公開には相当の時間を要します。まずは、既に実施しているモンゴル村や養源小学校校長宿舎等、利活用できる特定の施設情報を公開してまいります。加えて、現時点で考えられる、中央診療所、調川公民館など、今般市が実施している情報通信基盤整備事業等が活用されれば、様々な利活用の可能性があると、思っていますので、そういった整備状況に合わせて、広く公開できるように対策をとってまいります。

○地域内循環型経済の構築について
(岡山県津山市の例)

質 先進地視察先の津山市では「つやまFネット」という外郭団体を設立し、関係者が広く連携し、津山市

の強みを発見、商品化する仕組みを構築されております。本市においても農業・水産業・商業・工業の関係者と金融機関、学校、さらに、消費者までもが連携するようなネットワークを構築する必要があると思いますが、市長のご所見を伺います。

市長 松浦市商工業振興ビジョンの計画年度が平成30年度をもって終了しており、今年度新たに松浦市産業振興ビジョンを策定するため、松浦市中小企業振興会議において協議を進めております。その取り組みとして、ワーキンググループを設置し、8月21日に第1回ワーキンググループを開催しました。ワーキンググループには、商工業関係者のほかに、農協、漁協、金融機関、長崎県立大学の学生など多方面から参加をいただき、今後ワークショップを3、4回実施し、意見を集約する予定です。ビジョン策定に当たっては、その意見を反映させ、商工業を中心としながらも農水産業や観光業と連携した産業振興を目指したいと考えております。外郭団体の設置については先進事例も参考にしながら、今後このビジョンに掲げる施策の実現に向けて、その必要性を検証してまいりたいと考えております。

このほかに、「2040年問題について」と「住みよきランキング2019において松浦市が上位にランクインしたことについて」質問しています。